

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【令和4年度】

※1～6, 9：施設所管課記入, 7：指定管理者記入, 8：指定管理者及び施設所管課記入

指定管理者名	特定非営利活動法人 古川学人
施設所管課	教育部地域交流センター

1. 施設名

施設名	吉野作造記念館	施設の住所 電話番号	宮城県大崎市古川福沼一丁目2-3 0229-23-7100
-----	---------	---------------	----------------------------------

2. 施設の概要

設置年月日	平成7年1月29日	設置条例等	吉野作造記念館条例
設置目的	吉野作造に関する調査研究、その情報を発信し市民の教育文化の向上と地域文化の創造に資するため		
施設の内容	RC造平屋建 延床面積 1,725.05㎡ 敷地面積 8,321.68㎡ 主な施設の内容 常設展示室, 研修室・企画展示室, 講座室, 収蔵庫, 学習ルーム, インフォメーション(受付), 休憩ラウンジ		
利用料金	別紙のとおり		
開館日 開館時間	開館日 火～日曜日 常設展開館時間 9～17時(貸室場合9～21時)		

3. これまでの管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
平成6年度～平成13年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	1 旧古川市
平成14年度～平成17年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	2 特定非営利活動法人古川学人
平成18年度～平成22年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3 特定非営利活動法人古川学人
平成23年度～平成27年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3 特定非営利活動法人古川学人
平成28年度～令和2年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3 特定非営利活動法人古川学人
令和3年度～令和7年度	1. 直営・2. 管理受託・3. 指定管理・4. その他	3 特定非営利活動法人古川学人

4. 現指定管理者の指定期間等

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年ヶ月)
選定方法	公募(応募者数: 団体)・ <input type="checkbox"/> 非公募

5. 指定管理料

令和4年度（ア）	令和3年度（イ）	（ア）－（イ）
39,026千円	38,278千円	748千円

※（ア）は当該年度、（イ）は前年度とし、それぞれ決算額ベース。

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

<p>指定事業（業務）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 条例第4条に規定する事業の実施に関する業務 2 利用許可、取消し等に関する業務並びに利用料金の徴収、減免及び返還に関する業務 3 施設及び設備の維持管理に関する業務
<p>自主事業：該当無し</p>

7. 利用実績等

（1）利用者数

（単位：人，件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和3年度	320	1,211	368	471	533	342	762	1,420	1,160	327	672	442	8,028
令和4年度	460	647	475	522	665	605	1,222	613	996	456	698	786	8,145
主な増減要因	<p>令和3年度および令和4年度ともに、感染症の影響を受けているため予防対策を行いながらの運営となった。</p> <p>10月：動物愛護「いぬねこ十一番地」イベントの会場として当館を貸出した他、吉野先生の業績を多くの方に知ってもらう機会を提供するため常設展を無料開放したことにより、利用者が増加した。</p>												

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し、自主事業による人数・件数は記載しないこと。

（2）利用料金収入

（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和3年度	14	25	13	33	69	57	24	24	8	11	8	28	314
令和4年度	54	58	24	91	68	40	35	50	9	23	79	40	571
主な増減要因	<p>令和3年度および令和4年度ともに、感染症の影響を受けているため予防対策を行いながらの運営となった。</p> <p>7・2月：感染症の予防対策が緩和されたことにより、前年よりも利用件数が増えた。</p>												

※上段に前年度実績を記載し、下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し、自主事業による収入は記載しないこと。

(3) サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

1) 多角的な広報活動

事業内容に応じて下記の広報手段の中から選択し、より効果的に情報を届ける工夫をしています。

◆：テレビやネットを活用した広報 ●：紙媒体の広報 ■：看板での広報

主
な
広
報
手
段

当館が情報発信

- DM発送
個人宛て(過去の参加者、友の会会員、協力者、他)
団体宛て(学校教育・研究機関、他)
施設宛て(行政、観光施設、図書館、他)
- チラシ・ポスターの配布
- ◆ウェブサイト
- ◆メルマガ(会員限定)
- ◆Facebook(イベント情報欄掲載、広告掲載)
- ◆LINE(登録者限定)
- ◆Twitter(短文)
- ◆Instagram(写真)

報道関係

- 新聞
・河北新報、大崎タイムス
・朝日新聞、読売新聞、毎日新聞
- ◆テレビ・ラジオ
・NHK、東北放送、仙台放送、東日本放送
宮城テレビ、おおさきケーブルテレビ
- ・おおさきエフエム
- フリーペーパー
・さきっぺ!

ネット関係

- (他団体が管理しているサイト等)
- ◆おおさきHotPocket(コミュニティサイト)
 - ◆エブリー♪おおさき(大崎まちネタ集合サイト)
 - ◆イベントバンク(スマートニュース等への掲載)
 - ◆インターネットミュージアム
 - ◆Facebookグループへの書き込み
(大好きおおさき、イベント宮城、他)

看板・広告関係

- 市が管理する場所への看板設置
(市役所前・古川駅前)
- 当館周辺への看板設置
(電柱ミニ看板)
- 新聞広告掲載(大崎タイムス、河北新報)

2) 学校教育の中で吉野作造や記念館を活用してもらうための普及啓発活動

巡回パネル展
業績やエピソードを紹介



市内の小・中学校33校で実施

ジュニア検定試験
夏休みに58名が参加



吉野作造検定試験
8名が合格



小・中学校吉野作造
教育実践研究に関する指定



指定校: 古川第一小学校
古川中学校

絵本を活用したパネル展示
『ケロッキーブーとおおさきなあな』



あ・ら・伊達な道の駅
地域交流センター、
醸室、玉造荘、
敷玉小学校

主権者教育



泉館山高校、仙台第三高校、
古川学園高校

(4) 施設利用者の主な声やその対応状況

◆後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回）戦争篇」
 ・地域の人々と共同して展示を作られたのが素晴らしいと思いました。貴重な満州の写真が見られてとてもよかったです。

◆基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」
 ・地元にもこのような素晴らしい人がいたのに勉強しないのはとても損のように感じます。吉野作造がどのような教育を受け、どのような考えを持つに至ったか、現代に通じるものが大だと思えます。無料で勉強させていただき感謝です。

◆憲法記念日講演会
 ・質問が長すぎる人もいるので50文字以内でも紙提出させると良いと感じた。

【対応】

・次回から当館が予め準備した用紙に質問内容を記入してもらい、その中から質問内容を選定したものを質問する方式へと変更し対応したことでスムーズに質疑応答が進むようになった。

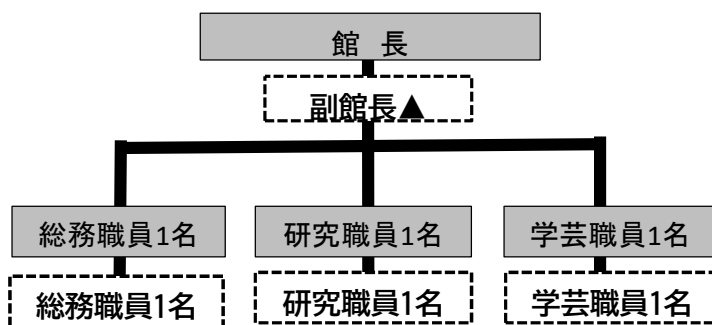
(5) 施設の管理運営における課題

1) 組織体制の見直し【長期課題】

博物館施設としての機能と役割を継続し、利用者へのサービスを安定的に提供していくためにも下記の1~4の課題解決に向けて、大崎市と指定管理者間で定期的な協議を行っています。

また、今後下記の取組みについて多方面で幅広く事業を展開していくことから職員の組織体制を見直す必要があります。

今後も引き続き、大崎市と指定管理者間で協議を行いながら進めていきます。



▲の箇所は現在、不在となっている箇所であり、今後、人員を増やす必要が有ります。

抱えている課題 ~ 適切な組織体制にするために ~

課題1: 施設内業務と対外業務の両立ができない

現状の組織体制では、当館の**施設内での業務**（見学者対応、レファレンス等）と**対外業務**（資料調査、出前講座、出張展示等）を両立させることができず、やむを得ず日程調整をしながら進めています。

課題2: 博物館施設としてのサービスの低下

現職員が1人でも退職をした場合、専門性のある業務を継続して行うことができず、博物館施設としての役割りや市民サービスを提供することができない。

また、経験のある職員を雇用した場合であって

課題3: 人的なネットワークが途絶えてしまう

私たちの活動では、利用者とのコミュニケーションを十分に図ることが必要となります。これまでの活動において築き上げてきた研究者や資料の寄贈・寄託者、協力者などとの**人的ネットワークが途絶えてしまう危険性**があります。

課題4: 複数の事業を同時並行で進めることが困難

現状の体制では、複数の事業を同時並行で進めることが困難であり、増員させることによって、**それぞれのチームにわかれ業務を円滑に遂行**できるようになります。

2)施設の老朽化【長期課題】

当館は開館から28年が経過し施設の老朽化による故障や劣化が増えています。特に大規模修繕に該当する項目については引き続き大崎市教育委員会と指定管理者間で協議を行いながら改修に向けて進めていきます。

●大規模修繕および改修項目（主な内容）

- ① 電話機の故障による新規入れ替え工事
- ② 外壁清掃・塗り直し
- ③ 当館北側中庭への専用駐車場を設置（新設を要望）
- ④ 関係者用通用口フェンス設置
- ⑤ 屋上安全柵改修
- ⑥ 建物全体のひび割れ箇所の改修
- ⑦ 収蔵庫および常設展示室の資料保管および展示場所の不足（新設を要望）



8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3) 管理記録	各種の管理記録（業務日誌等）を適切に整備、保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設、設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	○
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収、減免、還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	○	○
3 事業の実施			
(1) 指定事業	仕様書、事業計画書に基づく事業を実施している。	○	○
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	-	-
4 個人情報の取扱い			
(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	○	○
評価項目	評価基準	自己評価	所管評価

5 管理運営業務の収支等			
(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
(3) 経理事務	専用口座、帳簿等を備え、適切な経理事務を行っている。	○	○

【評価の考え方】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※該当しない項目については、「-」を記入してください。

9. 施設所管課の総合評価

平成14年度に指定管理へ移行して以来、適正な施設維持管理及び利用者サービスが継続的かつ安定的に実行されており、総合的に良好な管理運営が行われてきた。

運営面では、新型コロナウイルス感染症の影響から減少していた利用者数及び料金収入が増加傾向にあること、また吉野作造検定、出前講座、絵本「ケロッキーブーとおおきなあな」を活用したパネル展など吉野作造の功績を広く周知したほか、市内の小中学校において巡回パネル展や吉野作造生誕45周年を記念した特別給食の実施など、若い世代に対するアプローチも積極的に行っている。また資料の収集や関係者とのネットワークの構築等を積極的に行うほか、保管資料の管理も適切に行われていることも評価に値する。

管理面では日常清掃に加え、展示ケースの清掃等により清潔な環境が整えられているとともに、日常的な点検を行いながら保守や修繕が適切に行われている。

今後も、創意工夫した事業の展開や資料の適切な保管に努め、多くの市民が来館し、吉野作造の功績を後世に伝える施設であることを期待するものである。